

同窓生のコラム



音楽を分け隔てなく

楽しんで欲しい

高21回 上條 俊一郎



1969年3月卒業して上京。翌年から音楽プロダクションでアルバイトを始める。

そこに所属していたのが「岡林信康」「フォーク・クルセダーズ」「高田渡」「遠藤賢司」「加川良」「はっぴいえんど」などなど。当時のフォークソ

ン。グやロックの中心人物達であつた。

そのまま大学に行かなくなり、正社員として採用されたのが1971年4月。ちょうど50年となる。楽器も弾けず、歌も唄えない「裏方」専門50年。貧乏ゆえに未だに現役である。

2019年10月、ひよんなこことから「松本ロフト」というライブハウスを作ってしまった、半年経ったところでコロナ禍。果たしてこの原稿が読まれる頃にまだお店が存続しているか自信がない。



音楽のジャンルは様々である。クラシック音楽は芸術、ジャズはギリギリ芸術に分類されるが、その他の音楽は「芸能」「歌謡曲」として一括りにされる。クラシックが一流で、演歌は三流という考えが根強い気がする。そうではない。クラシックの中

に一流と三流があり、演歌の中に一流と三流があるのだ。

東京から松本に戻って一番大変なのが、私が扱っている音楽が信州、特に中信地区において全くと言って良いほど知られていないという事だ。テレビで活躍している歌手以外を殆どご存じ無い。テレビでお馴染みの歌手は、全体の極く一部なのです。

ヒットさせる為に作る音楽ではなく、自身の体験や心情を表現する音楽を作り続けている人は沢山いる。年代に関係なく、

「県陵サッカー部創部の経緯」

(サッカー部OB)

高22回 松田

正巳



松本県ヶ丘高校が創立100年を迎えるに当たり、日本へのサッカーの伝来と県陵サッカー部の創部の経緯を考えてみたいと思います。

サッカーが日本に伝わったのは明治初期で、明治6年築地の海軍兵学寮に於いて、英国海軍教官のダグラス少佐により日本人の海軍軍人にサッカーを教えたことが、日本におけるサッカ

若者にも多く存在する。

ロックバンドが心置きなく演奏できる場所は松本市内にも複数存在するが、生楽器を主体とした場所が無かったので敢えてアコースティックの店を作った。プロのアーティストを招聘する事が難しい中で、県内で頑張っている実力者に出演してもらっている。

しかし、70代に突入した私の許に若者が寄ってきてはくれな。開店した当初から「若き後継者」を探し育てるのが私に与えられた使命だと思っている。続ける。

の始まりであるといわれています。当時はサッカーとはいわずフットボールといわれていました。その後、フットボールは東京高等師範学校で全国初の部活動として行われ、卒業生が教員として全国に赴任をし、サッカーを師範学校や旧制中学校に広めたようです。特に大正10年前後に開校した旧制中学校には校技として部活動に採用する学校もあり、県陵も同じスタート

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業

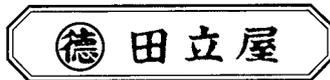


株式会社 アスピア
代表取締役 百瀬方康(高22回)

本社：長野県松本市宮淵1-3-30 〒390-8639
TEL 0263-32-8855 FAX 0263-35-1618



TADACHIYA
SINCE 1848



代表取締役 大宮康彦(高17回)

長野県松本市大手3-3-4(大名町)
TEL 0263(32)0057 FAX 0263(34)2561

手づくり朝食と大浴場が人気のホテル
松本ツリーリストホテル
Matsumoto Tourist Hotel

全日本シティホテル連盟会員・政府登録

縣 正長 (高17回)

縣 秀享 (高23回)

〒390-0815 長野県松本市深志2丁目4-24
TEL 0263-33-9000 FAX 0263-36-6435
http://www.trist.co.jp/